

藤ノ森だより 特別号



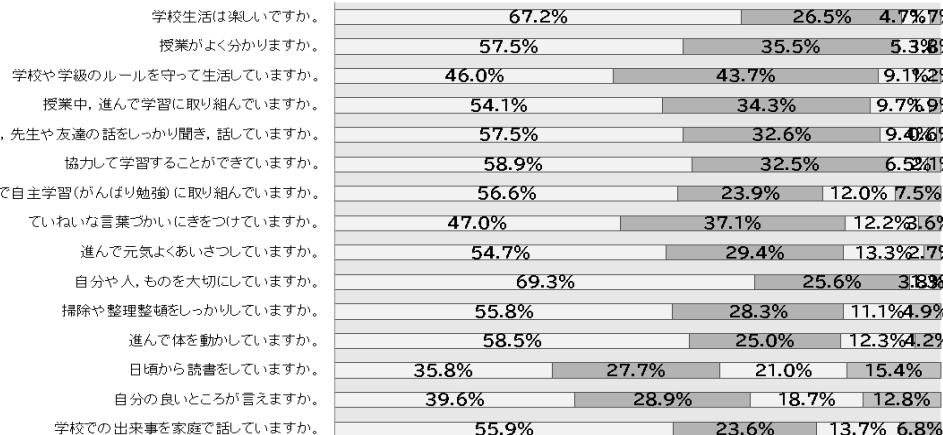
令和2年10月30日 京都市立藤ノ森小学校 校長 東原 幹人

すべては藤森の
子どものために

今年度は新学期が始まってすぐ休校期間に入りました。誰もが経験したことのない状況の中で、「できること」を模索しながら取組を進めています。今回のアンケートでは自由記述欄において「休業中や、学校再開後の取組について感じておられること」についてご記入いただきました。子どもたちのより良い育ちのため、子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様のご意見を活かし、取り組んでまいります。

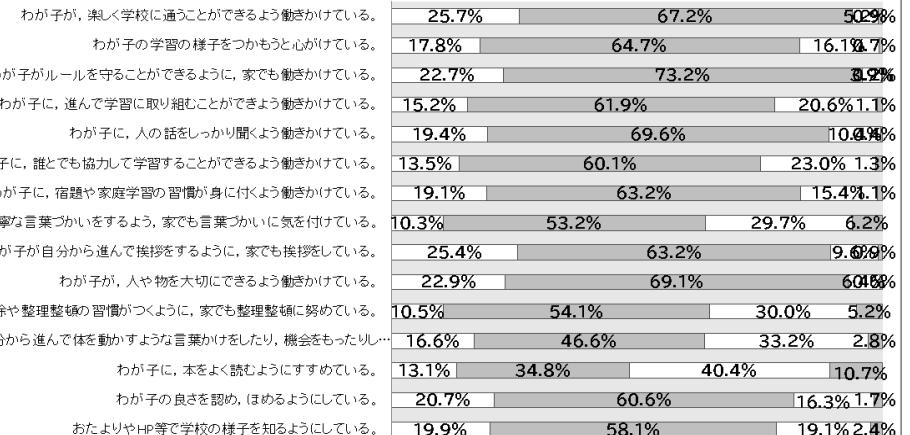
令和2年度 第1回教育アンケート(児童)

□よく出来ている □大体出来ている □あまり出来ていない □出来ていない



令和2年度 第1回教育アンケート(保護者)

□よく出来ている □大体出来ている □あまり出来ていない □出来ていない



すすんで学習する子

授業中の学習に関する質問項目では、いずれの質問にも 9 割前後の子どもたちが「できている」と答えています。「学校生活が楽しい」と答えた子どもも 9 割を超える子どもたちが前向きに学習に取り組んでいることが分かります。休校による学習の遅れについてはご心配のことだと思いますが、各学年計画的に進めております。しかし 1 日の時間数が少しづつ増えていることで、疲れ出ることも考えられます。学校でも注意して進めておりますが、ご家庭でも子どもたちの学習面とともに、体調や様子などみていただき、連携して進めていければと思います。

また学習を進める上では、家庭学習も重要です。学校で学んだことを定着させたり、自分の興味のあることを深めたりするための時間です。保護者の皆様には休校中、特に気にされていたことだと思います。81.3%の方が「宿題や家庭学習の習慣が付くよう働きかけている」と答えられました。これから必要とされるのは、自分で時間を管理し、目標に向かってどのように学習していくのかマネジメントしていく力といわれます。初めは手助けが必要ですが、だんだんと自分で計画を立てて進めることができるよう、見守り、助けていただければと思います。

かぎりなくやさしい子

「自分や人、ものを大切にしている」と答えた子どもたちは 94.9%、また、相手のことを敬うことにつながる「ていねいな言葉づかいに気を付けている」と答えた子どもたちは 84.1% でした。自分も周りも大切にという意識が高まっているといえます。今後も、私

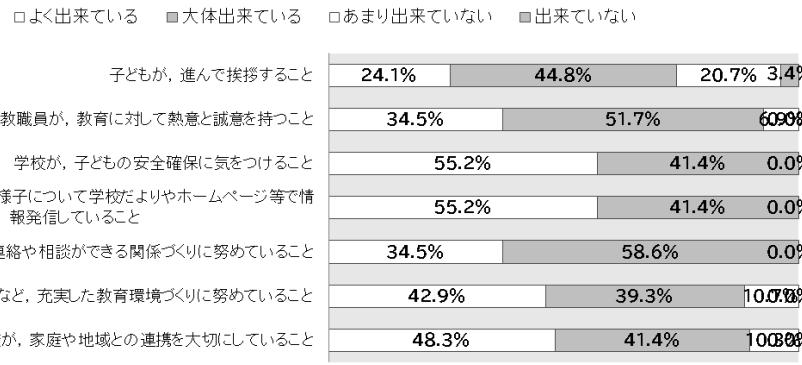
たち大人がお手本となり、ていねいな言葉づかいで働きかけをしていくこうと思います。

一方、毎年特別号で取り上げている「自分の良いところが言えますか。」という質問に対しては、「言える」と答えた子どもは全体の 68.5% でした。保護者や教職員は「子どもの良さを認め、褒めるようにしている」という答えの割合が高いにも関わらず、他の質問項目よりも低い数値となっています。子どもたちの自己肯定感を高め、自信をもって生きていくことができるよう、引き続き子どもたちの良いところを見つけ、認めていくこうと思います。また、子どもたちの良さも困りも保護者の皆様と共に共有し、手を携えて、子どもたちの成長を見守りたいと思います。

だれとでもつながる子

挨拶については、84.1%の子どもたちが「できている」と答えており、一方で、地域アンケートでは「できている」という答えが 68.9% となっています。昨年度までの結果でも、学校では挨拶ができるが、地域の中でとなるとあまりできていないという様子は見られました。今年度はさらに、感染防止の為ほとんどの時間マスクを着用していて顔を判別しにくく、覚えにくいことに加え、大きな声を出さないようにしたり、熱中症予防の為マスクを外したときはおしゃべりをしないように指導したりしました。そのことも例年のような元気な挨拶ができていない原因と言えるかもしれません。しかしながら子どもたちは地域で育っています。そして地域の方には登下校の見守りを始め、コロナ禍でも子どもたちのためにと、様々な取り組みの中で関わってくださっています。挨拶は人間関係づくりの第一歩。子どもたちがより良い人間関係を培い、豊かな人生を歩んでいくことができるよう、意識して声をかけていくこうと考えます。

令和2年度 第1回教育アンケート(地域)



しなやかで元気な子

休校中は緊急事態宣言のもとで外出もままならず、子どもたちの体力の低下が心配されました。現在は感染予防に注意しながら、体育の授業や休み時間・放課後の外遊びも行っています。今回のアンケートでは 83.5% の子どもたちが「進んで体を動かしている」と答えました。これは例年とほぼ同じ数値です。体を動かすことは体力向上だけでなく、人(友だち)と関わりながら体を動かすことで「仲良く遊ぶための人との関わり方」や「自分の思うようにいかないときにどう対処するか」といった、心の成長にもつながります。今後も感染予防をしながら、体を動かす機会を大切に、ご家庭でも働きかけていただければと思います。

自由記述欄 「休業中や、学校再開後の取組について」

自由記述欄にはたくさんのご意見を寄せいただきありがとうございました。いただいたご意見をもとに、教職員一同力を合わせ、今後の教育活動に取り組んでまいります。紙面の都合で一部のみご紹介させていただきます。

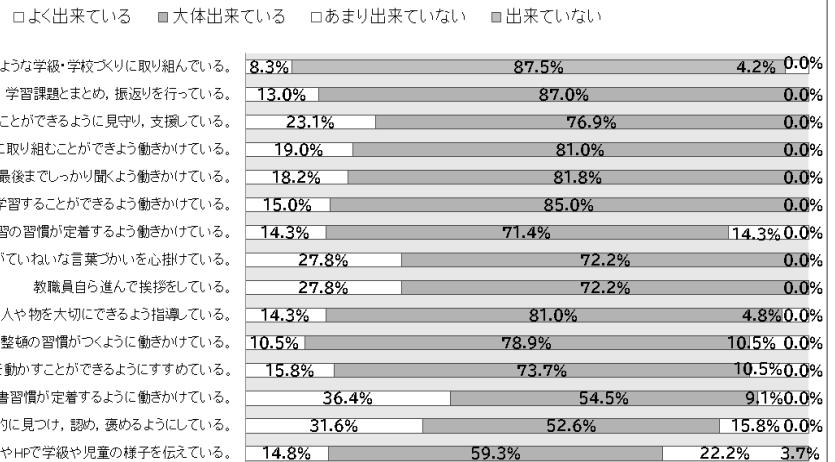
○たくさんの楽しい行事がなくなったのはすごく残念ですが、毎日学校に行けることのありがたさを改めて感じました。参観で子どもたちがすごく楽しそうに学校生活を送っていることが見てとても嬉しかったです。

○休業中は家で学習したり、体を動かしたりと、できるだけ子どもにストレスがかからない生活を心がけていました。家庭でできることにも限りがあり、お友だちと協力したり、向上心をもってもらうには学校という場が必要だと改めて感じました。

○できないことが増えている中、できることはやろうと色々考えて取り組んでもらっているなと感じています。授業が遅れている分、授業の進むペースに理解が追いついているのか心配なときがあります。でも学校が再開して、友だちや先生に会えることは嬉しいです。

○休業中は家庭で学習を進めようとしても、なかなかかはからない中不安がつのっていましたが、学校から学習課題をいただいて、復習・予習に取り組めたことで少し安心でき、学習の習慣も絶やさずにいられました。再開後は、なかなか学習のペースがつかめず苦心しているようですが、学校のみんなで学習できる喜びを感じながら通っています。先々の不安も大きいですが、何が起こっても、その時に子どもに必要なことを与えてやれるよう、よろしくお願いします。

令和2年度 第1回教育アンケート(教職員)



○子どもたちの健康・安全を第一に、たくさんの場面で手を尽くしていただきありがとうございます。長い休み、学校再開となり、学校で学ぶ大切さを痛感しています。まだまだ大変な状況ですが、健やかな学び。あたたかい教育をよろしくお願ひします。

○休校中、家で学習するということがこんなにも大変なことなのかと実感し、学校の大切さをあらためて感じました。

○休業を経験し、学校に行ける喜びを親子で改めて感じました。勉強は苦手だけど学校生活はとても楽しいようで、ありがたいと思います。たくさん行事がなくなったのは残念ですが、1年楽しく過ごしてほしいと思います。

○休業中、もう少し子どもたちとコミュニケーションをとっていただけたら、再開に向けて子どもの気持ちも前向きになれたのかなと思います。再開後、学習を計画通りに進めることだけにとらわれず、学校でしかできない学習を楽しんでほしいと思います。

○自由参観で感じたこと。とにかく教室が暑かった…。エアコンはついているが、コロナ対策で窓が開いているし、子どもの熱気もあってのことだと思います。でもそんな暑い中、子どもたちは元気いっぱい笑顔いっぱいで授業を受けていて感動しました。そして先生。暑い中マスクもして大変だと思いますが、そんな状況の中で子どもたちに分かりやすく、楽しんでもらえるよう工夫して教えておられると感じました。

○体を動かす機会がすごく減っているので、体力低下が気になります。

○いつもと違う生活で親もイライラしてしまい、できないことばかりにいつも以上に目がいってしまいますが、先生方が子どもの良いところに気付いてくれて、成長に気付くことができました。

○運動会がいつも通りできなくてとても残念ですが、少しでも見せていただけることをとても嬉しく、楽しみにしています。休業中お友だちに会えず、さみしがっていましたが、学校が再開し毎日楽しく学校から帰ってきて話を聞かせてくれるので嬉しいです。卒業式までこのまま登校できることを願います。

○休業中はとても不安でしたが、学校のホームページを見ると先生が子どもたちにメッセージを頻繁に載せて下さっていたので、学校に行ってないけれどながっていると安心できてとても良かったです。

